

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2022	開講キャンパス	都城	開設学科	園芸学専攻			
科目名称[英語名称]	近代庭園学特論Ⅱ				授業形態			
科目コード		単位数	2	配当学年	1	実務経験教員担当	アクティブ ラーニング	○
教員氏名	岡島 直方							
授業概要	近代において、時代の変化とともに風景や緑地に対する見方、考え方が転換する出来事が何回か起こった。特論の前半ではそれ以前と以降に何が変わったのか、変わり方に影響を与えたものについて考える。後半では造園デザインプロセスに関わる変化を学ぶ。							
関連する科目	「東洋庭園学特論Ⅰ」、「西洋庭園学特論Ⅰ」							
授業の進め方と方法	テキストや配布するプリント、関連書籍などを読みながら進めていく。大学院生としてのテーマは、必ずしも授業計画に登場するものが主題とは限らないであろうから、本人の興味などを考慮にいれ、柔軟に対応する。							
授業計画	第1回. はじめに							
	第2回. 地図の作成と空間把握							
	第3回. 自然科学の基本的な態度の一例							
	第4回. 批評空間とアート1(アートとは何か)							
	第5回. 批評空間とアート2(アートとは何か)							
	第6回. 大地や緑地との接点を持つアート							
	第7回. 評論から学ぶ空間論1(造園家や建築家)							
	第8回. 評論から学ぶ空間論2(造園家や建築家)							
	第9回. 対談から学ぶ空間論1(造園家や建築家)							
	第10回. 対談から学ぶ空間論2(造園家や建築家)							
	第11回. 文学の中の自然描写の研究1							
	第12回. 文学の中の自然描写の研究2							
	第13回. 文学の中の自然描写の研究3							
	第14回. 自由研究(森の絵本)							
	第15回. まとめ							

学位授与の方針(DP)との 関連	1. 専門分野に関する知識・技能と教養	○
	2. 人間力、社会力、国際性の涵養	○
授業の到達目標	異文化のバックグラウンドを持つ人から見た、新鮮な空間の捉え方を知る。自分の専門分野の殻に閉じこもらず、むしろ開いていくことを目指す。緑地や空間一般を見る目を養う。	
授業時間外の学修	各々予習、復習を30分～1時間程度必要とする。	
課題に対するフィードバック	大学院生が選んだテーマについてを主体として、内容のチェックを適宜行う。レポートなどの課題を通じて、フィードバックを行う。	
評価方法・基準	受講態度(50点),レポート(50点)	
テキスト	『戦争と平和』,トルストイ	
参考書	1. 『雪の研究』, 中谷宇吉郎 2. 『表徴の帝国』, ロラン・バルト, その他のものはプリント配布の予定	
備考		